

「読み」の授業研究会

第35回ZOOMによる冬の研究会

対話的学びを生かした説明文・  
論説文の授業をどうつくりだすか

「世界にほこる和紙」(光村図書4年)を  
取り上げながら

福岡県八女市立見崎中学校

熊添由紀子

# 説明的文章の指導過程

1 構造よみ

2 論理よみ

3 吟味よみ

説明的文章の構造

<p>はじめ (序論)</p>	<p>なか (本論)</p>					<p>おわり (結び)</p>
<p>問題提示・導入など</p>	<p>なか1</p>	<p>なか2</p>	<p>なか3 くわしい説明・ 論証など</p>	<p>なか4</p>	<p>なか5</p>	<p>まとめ・結論など</p>

## 論理よみとは

〈はじめ〉 〈なか1〉 〈なか2〉

…それぞれについて、「柱の段

落」や「柱の文」に着目しながら、

段落相互・文相互の論理関係をとら

える。(要約文を書く。)

「柱の段落」 「柱の文」とは

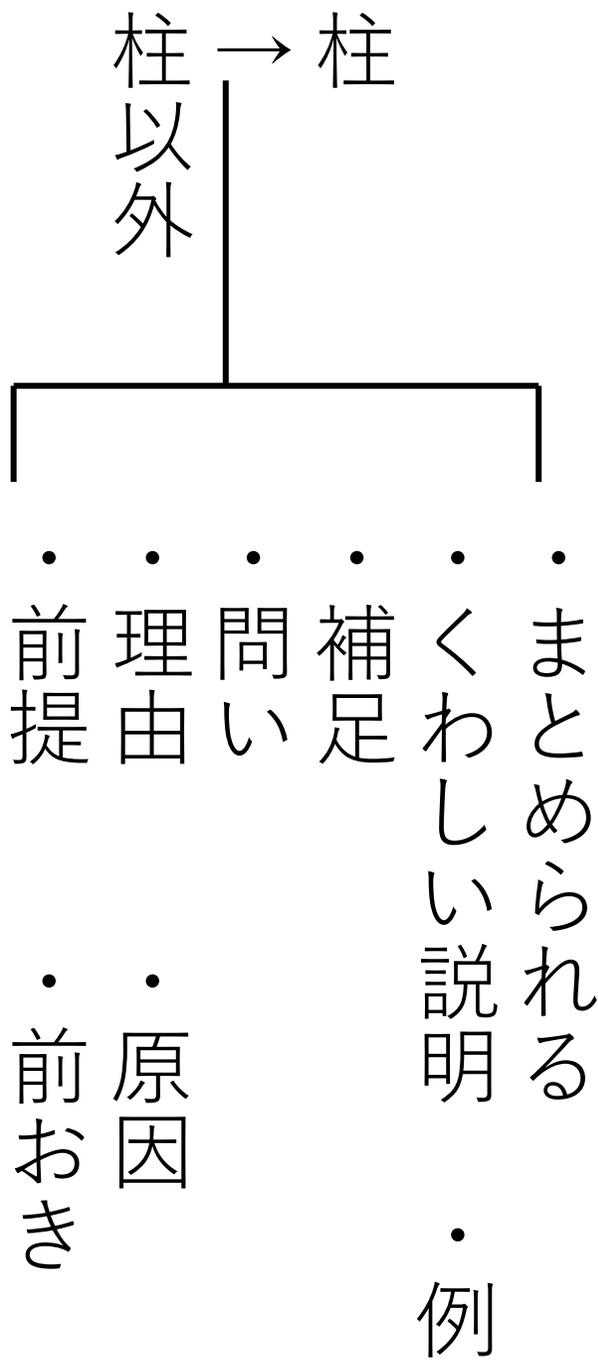
その段落もしくは文がないと、文章が意味をなさなくなったり、主張したいことが伝わらなくなったりする、文章の骨格ともいえる段落・文

「柱」に着目することの意義

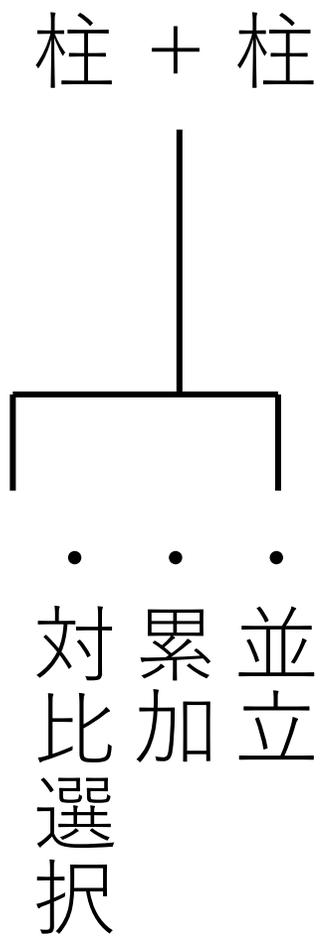
- ① 論理展開の仕方がより立体的に見える。
- ② 吟味よみで、文章の特長や課題を発見することに生かされる。
- ③ 要約・要旨の把握が容易にできるようになる。

# 論理関係のパターン

## A 柱と柱以外の関係



## B 対等の関係



## 吟味よみとは

「構造よみ」「論理よみ」を生かし  
ながら、文章の優れた点と、不十分  
な点を評価・批判していく。

### ○評価的吟味

### ○批判的吟味

吟味よみ

「吟味する力」を育てる意義

① 社会を主体的に生きる力の基礎を子どもに形成する。

② 子どもの知的好奇心の触発や論理的思考力の向上、学ぶ意欲の喚起を促す。

説明的文章の文種（ジャンル）

○説明（型）

すでに明らかになっていることを説き明かす文章。（定説）

○論説（型）

筆者の意見や主張を納得してもらうために書いた文章。（論証・仮説）

「世界にほこる和紙」の文種

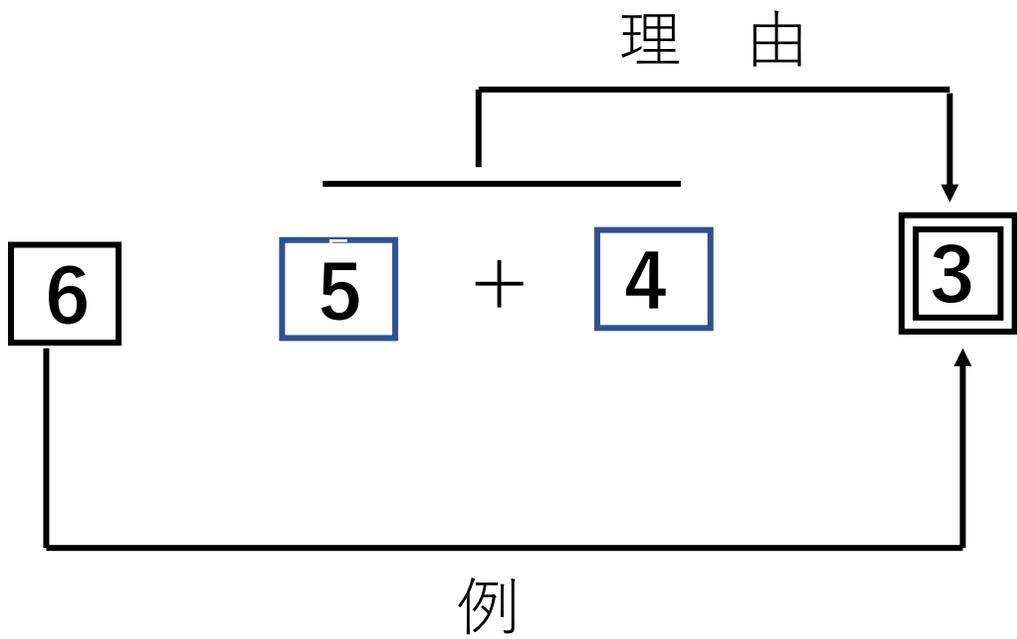
論説文

「世界にほこる和紙」の構造

<p>（結び） おわり</p>	<p>なか （本論）</p>	<p>はじめ （序論）</p>
<p>10 結論</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 45%;"> <p>9 ————— 3</p> <p>9 ————— 7</p> <p>なか 2</p> <p>和紙を選んで 使ってきた理由</p> </div> <div style="width: 10%; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;"></div> <div style="width: 45%;"> <p>6 ————— 3</p> <p>なか 1</p> <p>和紙の二つのとく ちよう</p> </div> </div>	<p>2 ————— 1</p> <p>結論</p>

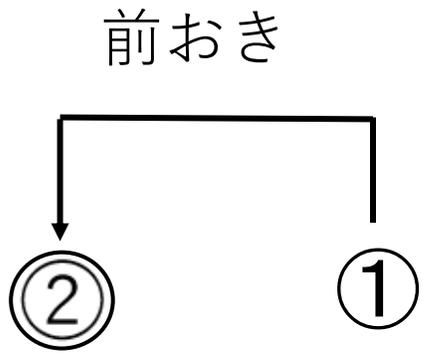
〈なか1〉の論理関係

\*柱の段落は、3段落



### 3段落の論理関係

\* 柱の文は、②文



(問)  
③

## 〈なか1〉の要約文

和紙には、洋紙とくらべて、やぶれにくく、長もちするといふ二つのとくちようがある。

学習課題..

論理関係に着目しながら、へなか  
2の柱の段落を見つけてみましょう。

7

8

9

学習課題・・

「世界にほこる和紙」の優れた点を  
挙げてみましょう。

## 学習課題..

「世界にほこる和紙」の不十分な点を挙げてみましょう。

\*吟味の視点

(ア) へなか2の述べ方で、不十分な点はな  
いか。

(イ) 7段落を述べるための例として、8・9  
段落の例は適当か。